

**よみがえれ！ 帯解駅**

**JR 帯解駅舎保存・活用計画**

**2020年7月**

**JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクト**

## はじめに

JR 帯解駅舎保存・活用計画は、明治 31 年(1898)開設の帯解駅舎が取り壊しの危機に直面している現状を憂い、駅舎の保存・活用のあり方を検討しようと立ち上がった JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクトから奈良市と JR 西日本への提案書です。また、駅舎を壊さないで保存・活用して欲しいとの要望書でもあります。

JR 西日本は、無人駅舎の維持・管理経費を削減する方策として、一つは帯解駅舎を取り壊してボックス状の金属製の駅舎に JR が改築する方法、もう一つは奈良市が JR から現駅舎の無償譲渡を受け、奈良市が保存・活用する方法を、今年の 3 月末という期限を切って奈良市と地域に提示しました。

JR から無償譲渡を受けて奈良市が保存・活用した京終駅舎のオープン後の昨年 4 月末、帯解駅舎の保存・活用を地域として取り組めないかとの話が持ち上がりました。それを契機として、帯解駅舎の保存・活用を地域の課題として取り組もうということになり、各町の有志からなるプロジェクトが昨年の 8 月に発足しました。

駅舎の保存・活用のあり方を検討するに当たり、帯解地域がかかえる問題や課題の分析及びそれらを踏まえたこれからのまちづくりの方向性などを話し合ったうえで、駅舎の保存・活用内容の検討に入りました。このアプローチは、地域のまちづくりの方向性と駅舎の保存・活用のあり方を連動させる必要があると考えたからです。

本計画では、帯解駅舎を地域の活性化拠点として保存・活用するための基本的な考え方及び果たすべき機能とその具体的な内容、並びにそれらを踏まえた駅舎の空間利用計画などを提案しています。

8 月には駅舎の管理運営団体である帯解駅舎保存・活用の会を立ち上げます。今後は、駅舎保存・活用の指針(ガイドライン)でもあります本計画に沿って活動を本格化させる予定ですので、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。

最後に、本計画の策定にご協力をいただきました奈良市関係各課及び駅舎の建物調査にご協力をいただきました奈良市教育委員会文化財課と奈良県建築士会「奈良ヘリテージ支援センター」、また保存・活用に関わるご意見やご助言をいただきました多くの皆さんに厚く御礼を申し上げます。

2020 年 7 月

JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクト  
代表 木原勝彬(今市町 1 丁目)

## 目次

- 120 年開業の帯解駅舎が無くなる…? 2P
- JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクトの思い 2P
- 帯解駅舎保存・活用の基本的な考え方～地域の活性化拠点に～ 2P
- 帯解駅舎の利活用について～大正・昭和初めの面影を大切に保存・活用～ 3P
- 管理運営する帯解駅舎保存・活用の会～地域の活性化、まちづくりに貢献!～ 5P
- <資料編> 6P
- 資料① JR 西日本・奈良市・地元の関係～京終駅にみる駅舎保存・活用に至る流れ～ 7P
- 資料② 帯解地区(小学校区)の統計データ～人口減少・少子高齢化が深刻!～ 7P
- 資料③ 地域の活性化・まちづくりとは～帯解を思う地域住民による自主的・自発的な活動が源～ 7P
- 資料④ 帯解地域の魅力・誇れるところ～豊かな帯解固有の地域資源を再発見しよう!～ 8P
- 資料⑤ 帯解地域がかかえる問題や課題～山積する多くの課題の解決に立ち上がろう!～ 9P
- 資料⑥ 帯解駅舎保存・活用の実現に向けた奈良市への働きかけ 10P
- 資料⑦ 帯解の活性化、まちづくりの方向性～地域の豊かな潜在力を活かしたい!～ 12P
- 資料⑧ JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクトについて 13P

## ■ 120年前開業の帯解駅舎が無くなる・・・？

明治31年(1898)に開設された帯解駅は、約120年前から帯解地域及び近隣の住民にとっての通勤・通学、買い物などの生活交通の拠点として利用され続けてきました。明治41年(1908)には明治天皇が帯解駅に降り立ち、陸軍の特別大演習を総監されました。

帯解駅舎は、地域住民にとって歴史的に価値のある地域の文化財であるだけでなく、奈良市民の貴重な近代化遺産ではないでしょうか。

JR西日本では無人駅舎の維持・管理経費の削減を図るため、既存の帯解駅舎を取り壊してコンテナ状の金属製の駅舎に改築する方針です。しかし保存・活用について、帯解の地域住民の熱意と奈良市の同意があるならそれに応えたいとも言っています。

## ■ JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクトの思い

歴史的建造物である帯解駅舎を、万葉まほろば線の畝傍駅、柳本駅、京終駅の保存・活用と連動させながら帯解のこれからの活性化やまちづくりに寄与する駅舎によみがえらせたいと思います。

帯解各町の有志で構成されるJR帯解駅舎保存・活用プロジェクトでは、昨年8月の発足以来、保存・活用のあり方を検討してきました。



帯解駅

歴史的建造物である  
帯解駅が金属製駅舎  
になっては困ります！



香久山駅

## ■ 帯解駅舎保存・活用の基本的な考え方～地域の活性化拠点に～

帯解駅舎を地域の活性化拠点と位置付けます。明治31年開設の歴史を引き継ぐ大正・昭和の頃の駅舎を復元した駅舎ミュージアムを舞台に、地域の活性化やまちづくりに貢献する活動を展開します。

活性化拠点にふさわしい名称については地域住民から公募します。

### ● 地域住民の交流の場

- ◆ 地域住民の出会い・ふれあい・語らいのサロン
- ◆ まちづくりなど、話し合いの会議室
- ◆ 絵画、写真、工芸などの展示ギャラリー
- ◆ ミニコンサートなどのイベント会場

### ● 地域学習の場

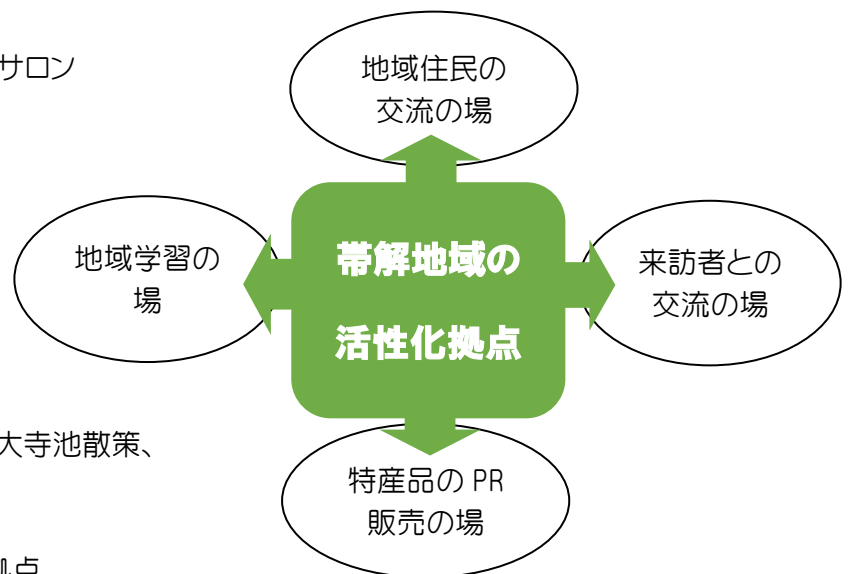
- ◆ 帯解の歴史・文化の学習、研究の拠点
- ◆ 子どもたちの地域学習、研究の拠点

### ● 来訪者との交流の場

- ◆ 帯解・精華地域などの観光案内拠点
- ◆ 帯解寺、円照寺などの寺社、町並み、広大寺池散策、山の辺の道などのハイキングの起点

### ● 特産品のPR・販売の場

- ◆ 帯解の農産品、特産品などのPR・販売拠点
- ◆ 農産品、特産品などの「市」のスペース



## ■ 帯解駅舎の利活用について～大正・昭和初めの面影を大切に保存・活用～

### ● 帯解駅の歴史

◆帯解駅は奈良鉄道により明治31年(1898)5月8日に開業しました。翌明治32年(1899)10月14日に奈良～京終間が開通して桜井線(高田～奈良)が全通しました。

◆明治41年(1908)には明治天皇が陸軍の特別大演習で帯解に行啓され大演習を総監されました。宮内庁公文書館所蔵の『幸啓録』(明治41年)によりますと、明治天皇が明治41年11月12日、「八時三十分奈良停車場御発車奈良懸添上郡帯解村大字柴屋高地ニ於テ演習御統裁午後一時三十分還幸アラセラレタリ」と記録されています。広大寺池を見渡す位置にある今市町2丁目の高台には、「大元帥陛下駐蹕之處」(明治43年建立)の記念碑が立っています。

◆帯解郷土研究会発行の小学生向けの読本『おびとけ』(昭和42年)には「円照寺へ行かれる宮さま方は、駅から人力車でした。宮さま方のために、駅には、とくべつのみちあい室もつくられました」とのお年寄りの話が記載されており、また三島由紀夫の『豊穰の海(一)春の雪』(昭和44年)の「娘は一等待合室に残して」との文章から帯解駅舎には特別な待合室があったようです。

(『奈良県の近代遺産－奈良県近代化遺産総合調査報告書－』(奈良県教育委員会、平成26年)、広瀬広仲・帯解郷土研究会発行『帯解郷土誌』(昭和28年4月1日)、同研究会『おびとけ』(昭和42年)より)



明治天皇の帯解幸啓を記す『幸啓録』と記念碑



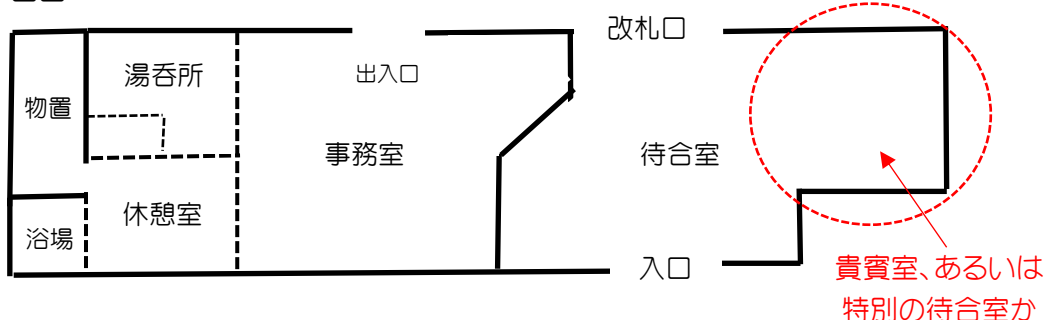
1970年代の帯解駅(出典:京都鉄道博物館)

### ● 駅舎の現状

◆明治31年(1898)の建設後、大正15年(昭和元年)の大改築工事に伴い駅務室が大幅に改造され、さらに戦後、部分的な改造を経て現在に至っているようです。

◆現待合室の北側の張り出し部分(落ち棟部分)が貴賓室との確証は得られていませんが、意匠面で特別な造作が施されていた可能性はあり得ますので、今後の調査に期待したいと思います。

帯解駅舎現況平面図



### ● 保存・改修の基本的な考え方

◆帯解駅舎を駅舎ミュージアムと位置付け、明治31年開設の歴史を引き継ぐ大正・昭和の駅舎復元に努めます。

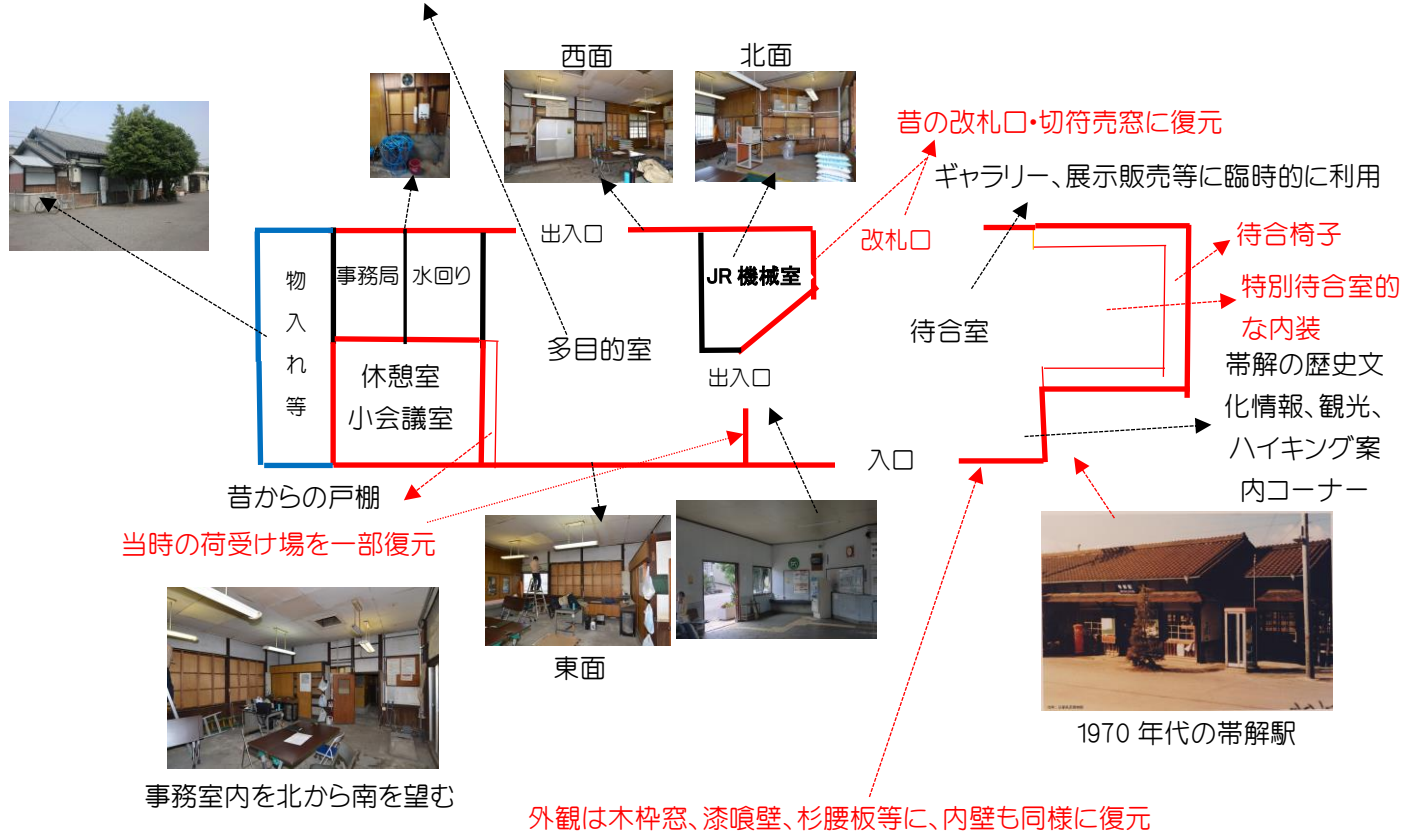
◆大正15年(昭和元年)の改造を経て現在に引き継がれている建物形態及び内部空間利用を基本的には継承します。戦後に新建材で改造されている部分は大正の大改築当時、あるいは昭和初め意匠に整備します。

◆保存・改修に際してはバリアフリー対応とします。また、耐震化にも対応します。

## ●空間利用のあり方及び効果

- ◆保存・活用された帯解駅舎を見学に来る鉄道ファンや帯解地域の歴史・自然風土に憧れる来訪者をもてなす玄関(ゲート)としての役割を果たします。
- ◆帯解駅舎を地域の活性化拠点と位置付け、「地域住民の交流の場」・「地域学習の場」・「来訪者との交流の場」・「特産品のPR・販売の場」として、相互の有機的な連携及び融合が可能となるような一体的な保存・改修を行います。活性化拠点にふさわしい名称については地域住民から公募します。
- ◆保存・改修にあたっては利用者の利便性を勘案します。また、管理運営を担う帯解駅舎保存・活用の会の活動を支える資金を生み出せる活用方法の検討も行います。
- ◆帯解駅舎の保存・活用により、駅舎が帯解の貴重な宝として住民の誇りとなること。また自分たちの居場所であり、自分たちの活動拠点であること。これからのまちづくり、コトおこしの拠点であるとの認識が広がりがつ深まることが期待できます。

サロン、コンサート、落語、ギャラリー、各種プロジェクトの会議、子どもワークショップ、展示販売等に利用



\* 赤字は保存・修復部分です。青字は改築部分です。

\* 天井は吹き抜け、天井張りなど、大正、昭和初期の意匠に保存・修復します。屋根は現行のままとします。

\* 外部の現行トイレを駅舎に調和する色調等に修景します。

## ●奈良市との協議による駅舎の保存・活用へ

- ◆保存・改修のあり方及び保存・改修の内容、並びにスケジュール等について奈良市と丁寧に協議を重ねながら地域と行政との協働により帯解駅舎をよみがえらせます。

## ■ 管理運営する帯解駅舎保存・活用の会～地域の活性化、まちづくりに貢献！～

### ●設立趣旨

- ◆明治 31 年(1898)に開設された帯解駅は、約 120 年前から帯解地域の住民はいうまでもありませんが、近隣住民の通勤・通学、買い物移動、荷物輸送などに利用され続けてきた馴染みの生活空間であり、人々が出会い、ふれ合うコミュニケーションの場でもありました。また、明治 41 年(1908)には明治天皇が陸軍の特別大演習で帯解に行啓され大演習を総監されました。
- ◆帯解駅舎は地域の歴史的・文化的価値を表象する歴史的建造物であるだけでなく、奈良市民の貴重な近代化遺産でもあります。
- ◆この由緒ある歴史を今に継承している帯解駅舎を地域の活性化やまちづくりに貢献する駅舎としてよみがえらせたいと思います。

### ●目的

- ◆JR 帯解駅舎の保存・活用をおこない、もって帯解地域の活性化及びまちづくりに貢献する。

### ●設立 2020 年 8 月

### ●会員

- ◆正会員:趣旨や目的に賛同して、会費を支払い、活動に参加する個人。
- ◆賛助会員:趣旨や目的に賛同して、会費を支払い、活動を支援する個人及び団体。

### ●役員

- ◆代表:1 名 ◆副代表:2 名以内 ◆運営委員:10 名以内 ◆事務局長:1 名

### ●監事

- ◆第三者的な立場から、会の活動及び財政等について監査を行う。

### ●アドバイザー

- ◆会の活動に専門的に助言をいただくアドバイザー制度を設ける。

### ●年度会費

- ◆正会員:3,000 円 ◆賛助会員 個人:1 □ 1,000 円 団体:1 □ 5,000 円

### ●活動内容

- ◆駅舎の保存・活用の具現化に向けた奈良市等との協議及び調整活動
- ◆駅舎等を活用した駅舎の保存・活用に結び付く活動
- ◆駅舎の管理運営にかかわる活動
- ◆その他、本会の目的を達成するための活動

### ●収入科目

- ◆会費収入 ◆寄附金収入 ◆助成金収入 ◆受託収入(奈良市等) ◆その他

※JR 帯解駅舎の活用及び地域の活性化にかかわるフォーラムを来年の早い時期に開催する予定です。

## 資料編

- 資料① JR 西日本・奈良市・地元の関係～京終駅にみる駅舎保存・活用に至る流れ～
- 資料② 帯解地区(小学校区)の統計データ～人口減少・少子高齢化が深刻！～
- 資料③ 地域の活性化・まちづくりとは～帯解を思う地域住民による自主的・自発的な活動が源～
- 資料④ 帯解地域の魅力・誇れるところ～豊かな帯解固有の地域資源を再発見しよう！～
- 資料⑤ 帯解地域がかかえる問題や課題～山積する多くの課題の解決に立ち上がろう！～
- 資料⑥ 帯解駅舎保存・活用の実現に向けた奈良市への働きかけ
- 資料⑦ 帯解の活性化、まちづくりの方向性～地域の豊かな潜在力を活かしたい！～
- 資料⑧ JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクトについて

\*資料④、⑤、⑦は、2019年8月から12月にかけて、プロジェクト会議におけるプロジェクトメンバーの意見を整理した資料です。

## 資料① JR 西日本・奈良市・地元の関係～京終駅にみる駅舎保存・活用に至る流れ～

昨年の2019年2月にオープンした京終駅のJR西日本・奈良市・地元の関係やオープンに至る流れのあらすじを説明しますと、以下の通りです。

◆JR西日本から奈良市に駅舎の取り壊しか、保存・活用かの相談が持ち込まれる⇒奈良市保存・活用の可能性を地域に打診⇒地域で京終周辺まちづくり協議会を発足させ保存・活用の検討が始まる⇒管理運営主体(NPO京終)が決まる。

◆JR西日本と奈良市との間で、建物の無償譲渡(10年間)契約を締結(駅舎は奈良市の公共財産に)⇒奈良市とNPO京終との間で管理運営委託契約を締結⇒NPO京終の管理運営で新駅舎オープン。

※駅舎の保存・改修にかかわる設計業務・工事は奈良市がおこないました。改修費用は国の補助金と奈良市の予算で対応しています。駅舎の保存・改修、駅前広場、観光トイレ等の整備費(含む、設計業務)の総額は51,669,198円です。

◆京終駅にかかわる奈良市の平成30年1月30日の記者発表資料によりますと、「平成28年11月から関係自治会長と地元有志の方々とともに「京終駅周辺まちづくり協議会」を設立。平成29年2月から協議を重ね、駅舎運営は、地元提案の事業で行っていく事が決定。平成30年3月の第1期(待合室)竣工、同年8月の第2期(カフェ、コミュニティスペース)竣工に続く第3期は、観光トイレ(多機能トイレ)と駅前広場整備、観光案内所の設置。2月23日(土)午前10時30分から観光案内所開所式典を開催。式典内で本市出身の俳優加藤雅也さんの「奈良市観光特別大使」委嘱式を実施」となっています。

## 資料② 帯解地区(小学校区)の統計データ～人口減少・少子高齢化が深刻！～

	2009年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	10年前比
人口	4,692	4,587	4,535	4,465	4,376	4,318	4,254	4,168	4,092	3,993	3,878	-818
世帯数	1,779	1,765	1,770	1,774	1,769	1,779	1,771	1,770	1,765	1,746	1,732	-47
65歳以上人口(率)	1,369 29.2	1,362 29.7	1,354 29.9	1,371 30.7	1,418 32.4	1,464 33.9	1,493 35.1	1,529 36.7	1,547 37.8	1,558 39.0	1,566 40.4	+197 +11.2
15歳未満人口(率)	444 9.5	422 9.2	431 9.5	431 9.7	422 9.6	407 9.4	401 9.4	382 9.2	356 8.7	358 9.0	330 8.5	-114 -1.0

奈良市福祉政策課 HP より

◆帯解地区は人口減少・少子化・高齢化が顕著に進展している地域です。

・10年間で人口は818人、15歳未満の年少人口では114人も減少しています。それに比べ65歳以上の高齢者人口は197人増加し、高齢化率が40.4%と奈良市の平均30.5%を大きく上まわっています。

・2009年を100とすると2019年の人口は82.7となっており、人口は17.3%減少しています。人口減少率の多さの順位は奈良市43地区で7位です。1位から6位までを順に並べますと柳生、興東、月ヶ瀬、田原、鼓阪北、東市となっています。また2019年の65歳以上人口の割合である高齢化率は40.4%で上位7位に入ります。15歳未満の年少人口の割合も8.5%で、この数値も少ない順の上位7位となっています。

◆2019年の人口が3,878人ですが、単純にこれから10年後の人口減少数として800人程度が減少すると見込めば2029年の人口は約3,000人となります。

## 資料③ 地域の活性化・まちづくりとは～帯解を思う地域住民による自主的・自発的な活動が源～

地域の活性化・まちづくりとは、帯解地域の魅力、誇れるところを伸ばしながら地域が抱える問題や課題の解決に取り組む地域住民による多彩な実践活動のことです。住民の地域を思う自主的・自発的な活動がその源泉です。

また、地域で担えることは地域で担うが、地域で担うことが困難なことは行政が責任をもって担うという地域と行政の連携・協働による住民主導の地域活動のことです。



## 資料④ 帯解地域の魅力・誇れるところ～豊かな帯解固有の地域資源を再発見しよう！～

### <自然環境>

- ◆ 広大寺池、「オオキアシシギ」が北米から飛来、「コウノトリ」も飛来
- ◆ 山辺の道、ため池、水路、水田
- ◆ 里山－河川－ため池－田－集落

### <歴史・文化環境>

- ◆ 弥生・古墳時代から現代までの歴史を体感できる歴史豊かな地域
- ◆ 帯解寺、円照寺、龍象寺を始めとして、地域で大切に守り伝えられている各町の寺社
- ◆ 帯解という、日本で唯一のユニークな町名・珍名
- ◆ 山の辺の道、上街道、郡山街道・五ヶ谷街道等の歴史の道が交差するまち
- ◆ 街道筋の歴史的町並みと田園集落のたたずまいを残すまち、町並み・集落景観、鐘馗さんが残る町家・民家の屋根瓦
- ◆ 神仏に深く関わる土地柄、豊かな宗教儀礼が残る地域
- ◆ 中世・近世・近代、そして帯解町が奈良市に合併(昭和 30 年)するまでの自治の歴史
- ◆ 広瀬広仲・帯解郷土研究会発行『帯解郷土誌』(昭和 28 年 4 月 1 日)、『おびとけ』(昭和 42 年)
- ◆ 帯解小学校郷土資料室保管資料
- ◆ 西村文庫(南部公民館図書室)
- ◆ 一般社団法人奈良県建築士会『帯解地域歴史的建造物調査報告書 今市・下山・山村・窪之庄・田中・池田』(平成 29 年 3 月)
- ◆ 三島由紀夫『豊穰の海』の『春の雪』の舞台

### <経済環境>

- ◆ 米、いちご(古都華)、トマト、キュウリなどの農産品
- ◆ 豊祝(豊澤酒造)、てんきの糖・はちみつ(やまと蜂蜜)、健康飲料・化粧品(奈良ヤクルト販売)
- ◆ 造園業(窪之庄)
- ◆ 建設業(三共土地建物、不二鉄など)
- ◆ 戎祭祀用品製造(近畿戎協同組合など)
- ◆ 池田の奈良県総合卸商業団地など

### <生活環境>

- ◆ 住みやすい
- ◆ いなかの魅力、こころのよりどころ
- ◆ 便利なところ(大阪へ出るのも便利、天王寺へ 45 分)
- ◆ 安全・安心なところ
- ◆ 地域住民のつながりが親密、みんなが顔見知り、その良さが残っている
- ◆ 子供への地域のあたたかいまなざし

### <著名人> (敬称略)

- ◆ 今井凌雪(書家) ◆ 森下喜文(画家) ◆ 徳勝龍など

### <地域の施設>

- ◆ 奈良県警察学校 ◆ 奈良市南部公民館 ◆ 奈良市南福祉センター ◆ 帯解地域ふれあい会館
- ◆ 特別要護老人ホーム Lino ◆ 介護福祉施設なら清寿園 ◆ アンダンテ農園(障害者福祉事業所)
- ◆ 多摩美術大奈良古美術セミナーハウス ◆ 奈良帯解郵便局 ◆ 南都銀行帯解支店

## 資料⑤ 帯解地域がかかえる問題や課題～山積する多くの課題の解決に立ち上がろう！～

### <人口減少・少子化・高齢化>

- ◆子どもが少ないのでは
- ◆若い世代が住まない
- ◆新しい人が入ってきていないのでは
- ◆高齢者の一人暮らし(帯解全体で 127 軒)

- ◆若年層の流失防止
- ◆定住化の促進
- ◆Uターン、Iターンの促進
- ◆高齢者の生活サポート、地域ケア
- ◆高齢者の買い物(食料品、日用品等)、通院への対応

### <商店、飲食店>

- ◆商店の減少
- ◆地域の人とのコミュニケーションがとれるお店がもう少しあって欲しい
- ◆歩いて飲みに行けるところがあれば

- ◆食料品、日用品のお店
- ◆喫茶店、レストランなどの飲食店

### <農業の担い手>

- ◆跡取りはいないので農家が減少している

- ◆農業の担い手(後継者等)の育成
- ◆農地の活用
- ◆「人・農地プラン」への対応

### <空き家>

- ◆空き家の増加、老朽化

- ◆空き家活用方策の検討
- ◆住みたい人、利用したい人と所有者とのマッチング

### <空き地>

- ◆休耕田、空き地の増加

- ◆農地、空地活用方策の検討

### <里山>

- ◆里山資産をどう維持するのか

- ◆里山保全・活用方策の検討検討

### <景観・風景>

- ◆町並みや集落の景観、田園風景が損なわれてきている

- ◆伝統的な町家、民家の維持
- ◆町並み、集落景観の保全・再生
- ◆田園風景の保全

### <市街化調整区域>

- ◆市街化調整区域、なんとかならないか。家を建て替えられるように

- ◆市街化調整区域のあり方及び今後の土地利用の方向性を踏まえた、計画的な土地利用の保全・規制・誘導策の検討

### <経済・観光振興・地域活性化>

- ◆地域としての経済・観光振興に向けた取り組みがなされていない

- ◆歴史的・自然的資産(歴史的風土)を観光資産として付加価値付け ◆歴史的・自然的資産の保全・再生・活用による観光振興 ◆廣大寺池の遊歩道整備 ◆帯解を中心とする奈良市南部地域の観光振興策の検討 ◆新たな要素、発想、ネットワークによる経済の活性化 ◆旧帯解幼稚園の利活用 ◆エネルギーも含めた地産地消の視点が必要

### <地域と行政の連携・協働によるまちづくり>

- ◆地域と行政の連携・協働
- ◆総合計画、都市計画マスタープラン等の位置付け
- ◆旧帯解幼稚園をどうするのか
- ◆帯解駅のバリアフリー化をどうするのか
- ◆帯解駅を核とした地域公共交通整備をどうするのか

- ◆第5次総合計画などの行政計画への位置付け
- ◆市街化調整区域の土地利用 ◆観光振興 ◆旧帯解幼稚園の利活用 ◆地域包括ケア ◆帯解駅のバリアフリー化 ◆コミュニティバスの運行など、地域課題の解決方策の検討

### <まちづくりの担い手>

- ◆帯解アイデンティティ(愛着、協力・協働意識)の強化
- ◆地域がかかえる課題解決などに総合的に対応できるまちづくり団体の設立

## 資料⑥ 帯解駅舎保存・活用の実現に向けた奈良市への働きかけ

昨年8月のプロジェクトの発足以来、奈良市を中心に、奈良県、天理市、JR西日本などへの働きかけを精力的に行いました。奈良県は駅舎改修にかかわる補助金の件、天理市は柳本駅舎の保存・活用にかかわる行政の取り組み内容を把握するため、JR西日本へはプロジェクトへ検討状況の報告及び協力要請のためです。

帯解駅舎の保存・活用及びそれを生かした地域の活性化及びまちづくりの推進のためには関係各課の理解及び協力を促すための働きかけが不可欠です。以下は、主として奈良市への働きかけの記録です。

### ◆働きかけの記録

- 2019年10月23日:都市計画課長補佐 都市計画マスタープラン等における帯解地域の位置付けの確認等
- 10月30日:奈良町にぎわい課長(帯解駅舎案件の暫定的窓口) 駅舎保存・活用に関わる情報収集
- 11月13日:教育委員会教育長 協力要請
- 11月19日:文化財課による帯解駅舎建物調査、第5回プロジェクト会議に奈良町にぎわい課長他1名参加
- 11月22日:都市計画課長補佐 補助金等の相談
- 11月25日:仲川奈良市長に面談し、帯解駅舎の保存・活用への協力及び支援を要望
- 12月13日:開発指導課長補佐 市街化調整区域の計画的な規制誘導の件等
- 12月17日:第6回プロジェクト会議に都市政策課調整官参加
- 12月25日:福祉政策課長 帯解駅のバリアフリー化の件
- 2020年1月23日:奈良市ユニバーサルデザインマスタープラン(案)パブリックコメントに意見提出
- 1月29日:教育委員会文化財課係長、奈良町にぎわい課課長
- 2月3日:奈良県地域交通課長補佐 帯解駅舎保存・改修の補助金の件
- 2月6日:総合政策課長補佐 地方創生推進交付金等の件
- 2月12日:都市整備部長 帯解地域を含む市街化調整区域の計画的な規制誘導の件等
- 2月13日:観光経済部長 帯解地域の観光振興等の件  
観光戦略課課長 地方創生推進交付金の活用について
- 2月14日:地域づくり推進課長 地域自治協議会の件
- 2月18日:第9回プロジェクト会議で文化財課係長から帯解駅舎建物調査報告を受ける
- 3月25日:帯解駅のバリアフリー化にかかわる奈良市移動円滑化促進協議会を傍聴
- 3月27日:奈良町にぎわい課長 保存・改修予算化を含む協力要請、情報収集
- 3月24日:仲川奈良市長に面談し、プロジェクトの検討経過を報告すると共に JRからの駅舎譲渡受けを含む駅舎の保存・活用の正式な決定を懇請
- 4月9日:西谷副市長 駅舎保存・活用の実現を懇請
- 4月22日:仲川市長、西谷副市長に要望書を送付
- 5月1日:第5次総合計画(案)パブリックコメントに奈良市南部地域の振興にかかわる意見提出
- 6月10日:JR・奈良市とプロジェクトの三者協議  
都市整備部長 駅舎保存・活用の件
- 6月11日:第11回プロジェクト会議に文化財課係長参加
- 6月19日:都市整備部長 現駅舎を利用する件で打ち合わせ
- 7月20日:前奈良町にぎわい課長 駅舎保存・活用についての今後の進め方について

※暫定的な窓口の職員にはそれなりに尽力をいただいたものの、正式な担当窓口(担当者)が設けられていない、あるいはJRから無償で駅舎の譲渡を受けるかどうかの方針がなかなか決まらないなど、奈良市の対応は地域に不安と戸惑いをもたらしました。また関係各課へのそれなりの働きかけは必要であるとしても、駅舎の保存・活用に結び付く施策の立案化及び保存・改修予算化等に関わる度々の要望、あるいは懇請活動は、過度な負担を地域に強いたのは否めないと思います。

※今後、資料⑤の帯解地域がかかえる問題や課題を、地域と行政の役割分担で解決していかざるを得ないとするならば、地域に寄り添いかつ地域の課題解決力のエンパワーメント(強化)に結び付く支援体制の整備(地域の総合窓口の設置、地域に関わるあらゆる行政情報の提供、地域との公式な協議の場の設営等)が行政には求められのではないのでしょうか。

## ◆2019年11月25日の仲川元庸奈良市長への要望内容

市長への要望は、「資料⑥ 帯解地域がかかえる問題や課題」及び「資料⑦ 帯解の活性化、まちづくりの方向性」を踏まえながら、帯解駅舎の保存・活用を懇請する内容及び帯解駅のバリアフリー化への協力を要請する内容となっています。

### ①明治31年建設の、近代資産 JR 帯解駅舎の保存・活用に協力をお願いしたい。

●京終駅・柳本駅が保存されたのに、帯解駅がシンプル化されるとなれば、正しく「帯解地区は後進地区」との烙印を押されることになりかねず、帯解地区で生活する住民としては絶対に耐えがたいことである。

●小規模駅舎にも拘わらず一等待合室（貴賓室）が併設されている駅舎は全国的にも珍しく、保存の価値は充分にある。加えて奈良市の公共的建築物で明治期の木造建築は、高度成長期を経て数少なくなってしまったが、帯解駅舎は「南部地区の明治期の代表的木造建物（＝後世への遺産）」として保存すべきものである。

★駅舎の修理・修復のための予算（2021年度）及び管理運営委託費用の予算（2022年度）の確保をお願いしたい。

★帯解駅舎保存・活用を担当する所管課の確定を、至急をお願いしたい。

### ②帯解駅舎の保存・活用を起爆剤とした帯解のまちづくり、地域活性化への取り組みに協力をお願いしたい。

●帯解地区は天皇ゆかりの帯解寺・円照寺をはじめ、多くの古墳（黄金塚・五ツ塚等）、溜池（広大寺池等）、中世の平城、中・近世に淵源をもつ集落や町並み、そして山の辺の道・上街道・郡山街道・五ヶ谷街道（主要地方道天理環状線）・山村御殿街道（県道高畑山線）などの歴史的な道が交差しており、古代・中世・近世・近代・現代へと歴史の重層性を実感できる地域である。

●「帯解地域歴史的建造物調査報告書（平成29年3月）」にある通り、帯解地区は「街道沿いに町家風の敷地割や建物が建つ地区」と「大和棟の民家が残り、大和の農村風景が美しい形で現存している地区」に分かれるが、これらの地区でも建て替えが進んでおり、帯解駅舎の保存・活用を機に、帯解地区の景観保全を進める必要がある。

●帯解地区の地場産業といえるものは、清酒、ハチミツ、乳製品、植木、苺などの農産物、恵比寿様の縁起物など消費者に喜ばれるものが多く、帯解駅で地場産品を販売すれば「道の駅」的な駅舎となり、乗降客も増え、且つ地元の産業振興にも寄与する。

●帯解駅を起点とした、ジョギングコース（広大寺池一周）、ハイキングコース（山の辺の道、正暦寺への道、上街道、集落をめぐる道等）の整備が出来れば、世界遺産の社寺仏閣を中心とした観光、奈良町の歴史的市街地観光、月ヶ瀬・柳生の中山間地域の観光とは異なる、奈良市南部の歴史と自然が一体となった市民及び来訪者の憩いの場としての田園観光地となる。

★帯解駅を核とした奈良市南部の観光振興策の検討をお願いしたい。

★既存集落の景観保全の位置付け及び景観重点地区指定の検討をお願いしたい。

★帯解地区の市街化調整区域のあり方の検討も含め、地域の活性化に結び付く計画的な土地利用の保全・規制・誘導策の検討をお願いしたい。

### ③JR西日本の無人駅シンプル化の一環としての「帯解駅舎ホームの屋根及び屋根付き待合コーナーの撤去」方針に対し、地域の高齢者・利用者への配慮を要請する取り組みへの協力をお願いしたい。

●帯解地区の65歳以上の人口は1,566名（2019年）と、10年前より197名増加している。高齢化率は40.4%と、奈良市全校区で7番目に高い。高齢者の自動車運転が問題視されている今、「高齢者の移動で頼れるのは公共交通機関」しかないのが現状である。

●跨線橋の上り下りは高齢者に特に過酷な歩行を強いているというのが偽らざる現状である。そのうえに屋根付き待合ホームが撤去されるとなると、高齢者はいうまでもないがJR利用者全体の不満が爆発することは必定で、駅舎保存・活用プロジェクトそのものへのマイナスの影響も心配される。

★駅舎の奈良市への無償譲渡に際し、地域の高齢者・利用者への配慮をJRに要請して欲しい。

★JR・奈良市・帯解駅舎保存・活用プロジェクトの三者による次善の策を検討する検討会議の設営をお願いしたい。

## 資料⑦ 帯解の活性化、まちづくりの方向性～地域の豊かな潜在力を活かしたい！～

帯解駅舎保存・活用の会では、帯解地域の魅力や誇れるところを活かしながら地域がかかえる問題や課題の解決をめざすこれからのまちづくりのあり方、あるいは地域の活性化を以下の方向性で考えています。

### ●帯解の歴史・文化を未来に活かすまち

- ◆歴史と自然と町並みが調和する地域固有の歴史的な環境を後世に継承するまちづくり
- ◆古代から現在までの歴史や文化を活かすまちづくり

### ●住民によるまちづくりが活発なまち

- ◆住民による自主・自立のまちづくり
- ◆地域住民の参画・協働によるまちづくり
- ◆多様なまちづくり活動が、次から次へと生まれ・育つまちづくり
- ◆自治会・自治連合会などの地域活動組織と新しいまちづくり活動の連携・協働によるまちづくり
- ◆行政との連携・協働によるまちづくり

### ●人を大切にすまち

- ◆性別や年齢、障がいの有無、居住・来訪にかかわらず子どもから高齢者まで、すべての人を大切にするまちづくり
- ◆子どもが健やかに育つまちづくり
- ◆子育て世代が住みやすく、住みたくなるまちづくり
- ◆高齢者が生きがいを実感できるまちづくり

### ●美しい風景や景観を大切にすまち

- ◆里山・田園風景・溜池などの自然環境豊かなまちづくり
- ◆歴史的な町並み・集落の景観保全によるまちづくり
- ◆旧街道筋、国道 169 号線沿いの景観保全によるまちづくり

### ●住みやすい安心・安全なまち

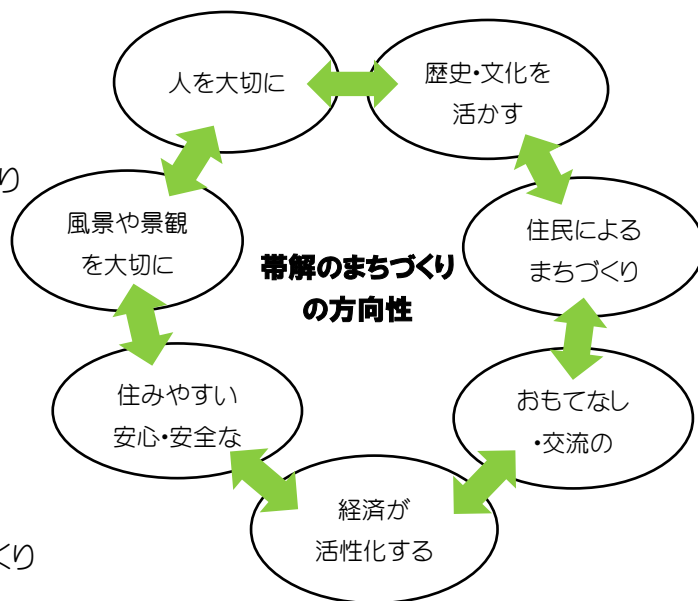
- ◆隣近所のおつきあい、助け合いによる住みやすいまちづくり
- ◆災害にも強い安心・安全のまちづくり
- ◆最寄りのお店が増えるなど、買い物に便利なまちづくり
- ◆地域の生活に根差した文化が高まるまちづくり

### ●おもてなしと交流のまち

- ◆観光客などをあたたかく迎えるおもてなしと交流を大切にするまちづくり
- ◆精華地区など近隣地域との交流・連携を大切にするまちづくり
- ◆全国・世界への情報発信や人材の広域ネットワークによる開かれたまちづくり

### ●地域の経済が活性化すまち

- ◆帯解の自然・歴史・文化資源を活かした観光振興によるまちづくり
- ◆帯解の農産品、特産品を誇れるまちづくり
- ◆農産品などの地域内循環が可能となる地産地消のまちづくり
- ◆空家、空地、休耕田などの活用により地域が活性化すまちづくり



## 資料⑧ JR 帯解駅舎保存・活用プロジェクトについて

◆目的:JR帯解駅舎の保存・活用のあり方を企画提案するとともに、保存・活用の実現に向けた働きかけと支援を行い、もって帯解のまちづくりに貢献する。

◆発足:2019年8月

◆代表:木原勝彬(今市町1丁目)

◆メンバー(敬称略、あいうえお順)

乾 則子(田中町)、倉本堯慧(帯解寺住職)、高原秀典(田中町)、武田 正(帯解地区自治連合会会長)、武村泰宏(下山町)、豊澤孝彦(今市町3丁目)、中光祥之(奈良帯解郵便局長)、西井正次(今市町2丁目)、堀川雅嗣(窪之庄町)、松石憲一(下山町)、六十谷みち子(むそたにみちこ)(池田町)、村田秀治(帯解小学校校長)、山本秀嗣(本町)、矢和多忠一(山村町)、吉田了三(今市町2丁目)

◆検討内容

- 駅舎保存・活用の基本的な考え方、方向性について
- 駅舎保存・活用による活動(事業)内容について
- 駅舎保存・活用後の運営主体について
- 運営資金について
- その他

◆駅舎の保存・活用のあり方を検討するプロジェクト会議の記録

- 2019年6月20日 第1回プロジェクト会議:有志で帯解駅舎保存・活用にかかわる意見交換(帯解寺清和閣会議室)
- 8月9日 第2回プロジェクト会議:メンバーで帯解駅舎見学の後、駅舎保存・活用などについて意見交換、プロジェクト正式発足(帯解寺清和閣会議室)
- 9月26日 第3回プロジェクト会議:JR西日本から駅舎のシンプル化(コンテナ状の金属製の駅舎に改築)などの説明と駅舎保存・活用事例の紹介、駅舎保存・活用にかかわる検討内容について議論(南部公民館第1講座室)
- 10月17日 第4回プロジェクト会議:駅舎保存・活用の基本的な考え方、方向性について議論(南部公民館)
- 11月19日 奈良市第教育委員会文化財課による帯解駅建物調査  
第5回プロジェクト会議:帯解のこれからのまちづくりと駅舎保存・活用のあり方についてメンバーからの意見発表(南部公民館)
- 12月17日 第6回プロジェクト会議:帯解のこれからのまちづくりと駅舎保存・活用のあり方についてメンバーからの意見発表、JRから帯解駅のホームの屋根、待合室撤去等にかかわる説明と意見交換(南部公民館)
- 2020年1月21日 第7回プロジェクト会議:帯解のこれからのまちづくりと駅舎保存・活用のあり方についての意見の整理について、JR保存・活用計画(案)などについて議論(南部公民館)
- 2月4日 第8回プロジェクト会議:帯解駅舎保存・活用計画の帯解のこれからのまちづくりの方向性、駅舎保存・活用の基本的な考え方、方向性について議論(南部公民館)
- 2月18日 第9回プロジェクト会議:奈良市文化財課による帯解駅舎調査(2019年11月19日)の報告、帯解駅舎保存・活用フォーラム(案)について議論(南部公民館)
- 3月3日 第10回プロジェクト会議:駅舎保存・活用フォーラムの延期について、『よみがえれ! 帯解駅~JR帯解駅舎保存・活用計画書(案)』の説明、「JR帯解駅舎保存・活用プロジェクト便り3月号」について議論(南部公民館)
- 3月22日 奈良県建築士会「奈良ヘリテージ支援センター」による帯解駅舎建物調査
- 5月1日~6月9日:コロナウイルス感染拡大防止のため、メール等による意見交換を通じてJR帯解駅舎保存・活用計画(案)内容の確定を行う。
- 6月16日 第11回プロジェクト会議:帯解駅舎保存・活用計画(案)内容を確定、当面は現駅舎を利用して活動を展開する旨を決定(南部公民館)
- 7月21日 第12回プロジェクト会議:帯解駅舎保存・活用の会の会則、運営規定、初年度の活動・予算、保存・活用計画を決定(含む、一部訂正)、8月29日設立総会。(南部公民館)

**保存・活用計画についてのお問い合わせ、ご意見などにつきましては下記までお願いします。**

**連絡先 〒630-8444 奈良市今市町 804 木原勝彬**

**TEL/FAX:0742-61-885 携帯:090-6673-3452 Email: ma34vd35ml@kcn.jp**